



江梨港に泊まる共愛丸  
昭和30年代 川上貢氏撮影



大瀬で行われていた定置網  
昭和33年 川上貢氏撮影



神明神社例祭  
昭和55年 杉山榮一氏撮影

西浦江梨には集落が形成されている江梨と大瀬崎を擁する大瀬があります。

江梨では人びとの営みがあり、脈々と受け継がれてきたまつりや行事が行われています。江梨から大瀬にかけて広大なみかん山があり、西浦みかんの産地の一つとなっています。

一方、大瀬には豊かな漁場があり、遠く東北の南部地方の漁師たちが滞在し漁業を行っていました。また、漁業の神様として漁師たちの崇敬を集める大瀬神社があり、4月4日の大瀬まつりには、多くの漁師たちが参拝に訪れます。

このような海と山とに囲まれた西浦江梨において、漁業に従事してこられた川上貢氏、みかん栽培に従事してこられた杉山榮一氏の両氏が昭和30年頃から平成8年までに撮影した写真を通して、海辺に生きた人びとのくらしを振り返ります。

### 展示構成

第1章 江梨と大瀬

第2章 なりわい

第3章 まつり・行事

第4章 ひとの一生

第5章 日々のくらし

第6章 職人・商人



沼津市における西浦江梨の位置



みかんの選果場で行われた結婚披露宴  
昭和56年 杉山榮一氏撮影



江梨を襲う台風  
昭和54年 杉山榮一氏撮影



江梨を訪れる曲げ物屋  
昭和58年 杉山榮一氏撮影